

表1 一般に入手可能な国際産業連関表

No	名称	作成主体	作成目的・概要	作成年	直接調べた表	対象国数	RoW	産業部門数	建設業の名称 (ISIC等に準拠)	基本表の大きさ
1	日米国際産業連関表	経済産業省	日本と米国の経済の相互依存関係を把握	1985、1990、1995、2000、2005	2005年 (無料)	日本、米国	その他 の国	27 部門表 54 部門表 174 部門表	27 部門：建設、54 部門：建築 および補修、土木建設、174 部門：住宅新建築、非住宅新建築、建設補修、その他の建設	94×81 175×135 538×379
2	日中国際産業連関表	経済産業省	日本と中国の経済の相互依存関係を把握	2007 年表	2007 年 (無料)	日本、中国	その他 の国	30 部門表 77 部門表	30 部門： A23 建設 70 部門： 055 建設	103×82 244×176
3	アジア国際産業連関表	ジェトロ・アジア経済研究所	アジア環太平洋地域の経済相互依存関係とその変化の分析ツール。長期の高いデータ整合性等を有する。	1970、1975、1985、1990、1995、2000、2005	2005 年 (無料)	10 カ国 (米とアジア主要国)	香港、EU、その他	7 部門表 24 部門表 76 部門表	7 部門：005 Construction 24 部門：021 Construction 76 部門：063 Building Construction, 064 Other Construction	— — 1087×832
4	OECD-ICIO	OECD	各国の統一形式産業連関表と2国間財・サービス貿易データに基づく推計	1995、2005、2009、2010、2011	2011 年 (無料)	66 カ国	RoW	48 部門	C45 Construction	2161×2532
5	GTAP-MRIO	米国パデュー大学世界貿易分析センター	研究者と政策決定者による研究組織。国際貿易分析プロジェクト GTAP: Global Trade Analysis Project	1990、1992、1995、1997、2001、2004、2007、2011	第9版 2011 年 (有料)	140 カ国	—	57 部門	CNS Construction	—
6	EXIOBASE	ルウェー科学技術大学、等	環境分析の EXIOPOL と関連あり。EU 資金による (休止中?)	2000、2007	2007 年 (無料)	43 カ国	RoW	200 製品群 163 部門	—	—
7	WIOD	EU	2009~2012 年の EU 資金供給によるプロジェクト	1995~2011 年	2011 年 (無料)	40 カ国	RoW	59 製品群 35 産業部門	F Construction	1443×1641
8	Eora MRIO	シエネ大学	作表手続きを自動化し、非常に詳細な世界規模の MRIO の作成を目指す。生産、貿易、消費の各サプライチェーンを追う。各国統計局の現データをその詳細部門数を残す、180 カ国以上カバーを目標、等。	1970~2012 年 (毎年) 但し、データ有無は国により違う。 別途、集約表を配布。	2010 年 (無料)	189 カ国	不明	25~500 部門。 国により違う。 日本表の建設関係は右欄通り (1 区分の国もある)。 集約 26 部門表あり。	Residential construction (wooden、non-wooden)、 Non-residential construction (wooden、non-wooden)、 Repair of construction 等、12 区分。 集約部門表では、 Construction という 1 区分。	日本表は、 408×408 各国 26 部門集約表は 4915×4915

©2015 岩松 (注) 日本 LCA 学会誌 (2013) 特集記事を参考に作成。表中「—」は情報入手困難等により未調査、又は不明。RoW: Rest of the World (その他世界の意)。